

こまき市民活動ネットワークの”今”がわかる！

ネットワークニューズレター

Vol.3

♥特集 研修委員会



= 活動報告 =

- ◇ 兒里の家で餅つき体験
- ◇ 合同クリスマス会
友優の会
生涯学習ボランティア・こまき
一色コスモスサポート学習の会

◎お知らせ掲示板◎

子育て支援活動団体必見！
助成金情報！！

会員紹介

企業会員

名古屋丸八互助会プレア小牧

市民活動団体会員

小牧おもちゃ病院トイトイ

NPO法人設立記念講演会・懇親会

ボランティアのころを考える！

～ボランティアと精神世界～

講師：飛驒千光寺 住職 大下大圓さん

スピリチュアルケアに関心のある人、もう一段自分を高めてボランティア活動したい人、講座に参加して「癒しの心」や「心のケア」について共に考え、今後の活動に役立ててみませんか！

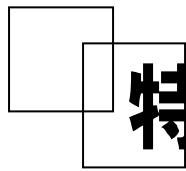
平成20年3月8日(土)

会場 パークアリーナ小牧 会議室A

講演会 午後2:00～3:30

懇親会 午後3:30～4:30

入場無料！



特集

研修委員会



研修委員会では、NPO講座と市民まちづくりセミナー（いずれも受託事業）を担当しています。今年度はNPO講座5回、市民まちづくりセミナー2回の事業を担当し、市民活動の魅力についてお伝えしています。これまでも、事務局や広報委員会の皆様のご協力のもと、チラシ、広報こまき、市民活動センターニュース、地域情報誌などを通じて、多くの市民のみなさんのご参加を頂いています。

先に行われた第10回市民まちづくりセミナーでは、第一部は企業として日々の営利活動とは別に社会貢献活動に取り組まれている、トヨタ自動車トヨタボランティアセンター所長の鈴木盛宏さんを講師としてお招きし、社員やその家族が楽しく、安心して活動に参加できる環境を整えながら、個人の自主性を尊重し啓発に主眼をおいた支援活動の講演を頂きました。お話しは大変参考となり、参加者は思わずもらい泣きする場面もありました。

また、第二部のパネルディスカッションでは東海ゴム工業 総務部長の速水昭典さん、グラウンドワーク小牧 会長の青木和芳さん、小牧婦人奉仕団 会長の松浦詩子さんをパネラーとして迎え、地元小牧に密着した活動の中での成果や苦勞などをお聞きすることができ、継続していくことの素晴らしさと大変さに頭が下がる思いでした。

毎回、講座に参加された方からは「参加してよかった」との声をいただき嬉しく思う一方で、もっと多くの方にご参加いただきたいと思います。今年度残すところ事業は2回となりますが、より多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。
(研修委員長 加藤鐘三)

～既に終了した事業～

- 第1回NPO初級講座 5月12日（土）にっしんのんびり村見学
- 第2回NPO初級講座 7月14日（土）「市民活動はおもしろい！」
- 第3回NPO講座特別編 11月14日（水）「今、わたしにできること」
- 第4回NPO講座上級編 1月26日（土）「地球人として、今、自分自身にできること！」
- 第10回市民まちづくりセミナー 2月9日（土）「市民・市民団体・企業の三者の協働のまちづくり」

～今後の予定している事業～

■ 第5回NPO講座上級編（入場無料）

日時：2月23日（土）午後1時30分～4時
 場所：勤労センター3階小研修室
 講師：防災ボランティア「D・サポート丹羽」
 講演：「もしもの時では間に合わない」
 ～地域防災と地域力について、皆で考えましょう～
 グループワーク：災害時の地域力の重要性について

■ 第11回市民まちづくりセミナー（入場無料）

日時：平成20年3月24日（月）午後6時30分～8時30分
 場所：小牧市役所南庁舎 5階 大会議室
 内容：「まちを育む 市民と行政の協働ルールブック」完成報告&討論会
 本年度、市民と市職員が共に話し合い、連携をとりながら小牧を良くしていくための「協働のルール」をまとめました。その意義について理解を深め、協働のまちづくりへの一歩につなぐ機会とします。





ネットワークお知らせ掲示板



2月・3月・4月

H19年度中心市街地にぎわい創出事業費補助事業

こまきで遊ぼう！にぎわいクラフト横丁

イベント
情報

日時 3月22日(土) 11:00~16:00まで

会場 東春信用金庫本店駐車場・ラピオ駐輪場

内容 ☆クラフトコーナー(手作り作品の展示販売、体験コーナーもあります)

☆フリーマーケットコーナー(家庭の不用品、子供服、雑貨)

問合せ先 フリーマーケットサークルガレーシアヒル 電話090-2618-8402

■ 2008年度(第6回)「ドコモ市民活動団体への助成事業」

助成金
情報

助成団体：特定非営利活動法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

◇助成対象(テーマ：子ども育成)

「子どもを守る」をキーワードに、家庭内・地域社会等の中で弱い立場にあり被害を受けやすい子どもたちにふりかかる問題(ex.児童虐待、非行、不登校、ひきこもり、地域犯罪、軽度発達障がい等)に取り組み、子どもの育成のために活躍している団体の支援を実施。

◇助成対象となる団体

- ① 日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で、特定非営利活動法人(NPO)等の法人格を有するもの。
- ② 活動実績が2年以上である団体。
- ③ 複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織(各地の「NPOセンター」等活動支援団体)が代表申請団体となる場合は、その協働グループ。
- ④ 過去にMCFから助成を受けた団体の再申請も可能です。

◇助成金額

<総額：2,500万円以内>1件あたり50万円を標準とし、200万円を上限とする。

※実施する施策に対する必要総経費の20%程度を各団体で負担すること。

(助成金額は、事業内容等を審査の上決定する)

◇募集期間 2008年2月1日(金) ~ 2008年3月31日(月)(必着)

※申込方法など詳しくはコチラ⇒ <http://www.mcfund.or.jp/newsrelease01.html>

■ 平成20年度「子育て家庭支援団体に対する助成活動」

助成金
情報

助成団体：社団法人生命保険協会

◇助成対象となる団体等

就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動を行う民間非営利のボランティアグループ・団体、NPO法人等で、所定の要件(申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している等)を満たす団体 ※特定非営利活動法人(NPO法人)以外の法人格を有する団体(社団法人、財団法人、社会福祉法人等)は対象外。

◇助成対象となる活動

日本国内における就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動(従来からの継続活動でも新規活動でも構いません)

◇対象となる活動の例

- ・学習会活動(育児勉強会の開催等) ・相談活動(子育て相談・カウンセリング等)
- ・情報提供活動(子育て情報誌の発行等) ・交流活動(親子の集い・情報交換の場の提供等)
- ・支援者養成活動 ・保育(保護者等の疾病時の一時預かり等) など

◇助成金額 1団体等当り(上限額)25万円 助成金総額 1,400万円 以内(予定)

◇募集期間 平成20年2月12日(火)~3月21日(金) <当日消印有効>

※申請方法など詳しくはコチラ⇒ <http://www.seiho.or.jp/social/home/home01.html>

ちごり 兒里の家で餅つき体験

12月1日(土)



餅つきには地域のみなさんも参加。4臼(1臼2升)のお餅はペロッとなくなりました!

自然環境に恵まれた小牧市東部の大山地区、ここで昭和初期に建てられた築70年余の建物を活用し、電気、ガス、水道(井戸あり)のない昔ながらの生活体験と里山環境保全活動を行うことを目的としています。

小牧市内の小中学生や親・子・孫の三世代の交流を図るため、兒里の家の周りに在る水田、畑を活用した農業体験及び食育に加え、マキによる火おこし、くどを使った炊飯や調理など、昭和初期の生活体験を通じて学習の場を提

供し、兒里の家スタッフだけでなく、市内ボランティア団体とも協力し合って運営していきます。

19年の夏にスタートしてから今日までに、くどでのご飯焚きや汁ものづくり、蕎麦打ち、畑の収穫、竹細工、餅つき、福祉の里の道路清掃などを行い、マスコミからの取材も多々有り、参加した方々には満足し喜んでもらえました。

今後の催事予定としては、2月下旬から3月2日まで雛人形の展示(今では珍しい土雛の展示もあります)、3月末には兒の森やふれあいの森でバードウォッチングや散策、5月には五月人形、こいのぼりを飾り、また、モリコロ基金による活動も行います。

里山の生活に関心がある方、お子さんを土と遊ばせたい方、不自由さを楽しみたい方、のんびりとした時間を過ごしたい方、昔の生活に詳しい方(我々にいろいろ教えてください)、ぜひ一度兒里の家を覗いてみてください。(兒里の家 内木正司)

♥友優の会 ♥生涯学習ボランティア・こまき ♥一色コスモスサポート学習の会

合同クリスマス会

12月23日(日)

場所：小牧市ふれあいセンター 3階大会議室

クリスマスのお話して開会し、子どもたちのペンライトの中、女神様が登場してのキャンドルサービス、3団体合同のクリスマス会の始まりです。生涯学習ボランティア・こまき会員の即席ダンス、カラフルな衣装だけが目立っていました。友優の会のダンスは日頃の練習の成果を発揮し、参加者全員で楽しめました。一色コスモスサポートの会は発足したばかりのダンスチームの初舞台でした。その他、マジックショー・ビンゴゲームで楽しみ、最後にサンタクロースが登場し、参加者全員にプレゼントが配られました。

年齢、国籍、会の目的の違う3団体の合同クリスマス会でしたが、みなさんが楽しんで交流できたことが最大の成果だと思っています。

(生涯学習ボランティア・こまき 西川君枝)



それぞれの団体の趣向を凝らした発表に、客席から大きな拍手が送られました!

会員紹介

企業会員 名古屋丸八互助会プリア小牧

寄稿 渉外課課長 杉本宜芳さん

皆さんこんにちは。弊社は葬祭事業として名古屋市に葬祭会館プリア瑞穂・千種・緑・黒川の4店舗。小牧市に葬祭会館プリア小牧、ブライダル事業として小牧市にガーデンチャペル・セントペルラを営業する冠婚葬祭の会社です。小牧の皆さんにはプリア小牧という名のほうが分かりやすいかもしれませんね。

プリア小牧はこの4月で13年となります。ひとえに小牧のみなさんの暖かいご理解あってのことだと深く感謝しております。

プリア小牧が竣工し10年が経ったころ、これまでは弊社の事業だけでお客様に接してまいりましたが、「これからは感謝の気持ちをお客様にお返ししなければならない、地域の皆さんに何かお役に立つことを考え行動しなければ」と考えはじめました。しかし葬祭業という立場でどのような地域貢献ができるのか頭を悩ませていたときに『こまき市民活動ネットワーク』発足の記事を拝見し、まず「行動を」という気持ちで入会いたしました。

入会後は私たち葬祭業でしか分からない地域の問題を発表し、また他の登録団体の方々の地域の問題を聞き、勉強させていただき、交流し、いまでは登録団体の方々と協力してイベント参加などさせていただいています。

駅前のにぎわい広場でのイベントに何回かスタッフとして協力参加させていただきました。交通整理をしたり、シャボン玉で子どもたちと遊んだり、時にはバルーンアートでいろんな物を作ったり（バルーンアートはまだまだ修行中ですが）色々苦勞もありますが地域の皆さん、家族、子どもたちがイベントに立ち寄り楽しんでいる姿や笑顔を見るのは本当に最高の気分になります。（特に私たちは仕事柄悲しい場面を見るほうが多いですから）地域の皆さんが喜んでくださることは私たちにとっても最高の喜びです。

また登録団体の方々ともイベント参加により新しい出会いがあり、距離も縮まり、弊社の葬祭会館でのフリーマーケットイベントに出店していただいたり、来館していただいたりのご協力をいただき感謝感激です。（今でこそ言えますが、葬祭業ということで受け入れていただけるかどうか本当に不安だったんですよ。）さらにうれしいことにイベントに来館されたお客様から「小牧のイベントで風船つくってたね」とか「小牧のイベントでプリアさん手伝ってましたね」と声をかけていただけるようにもなりました。最高にうれしいことです。少しずつですが地域の皆さんに貢献できてきているのだと実感しています。

今、私たちは、こまき市民活動ネットワークの中の団塊世代委員会、まちの活性化委員会のメンバーとして、また新たな地域貢献をとがんばっています。

弊社の地域貢献は、まだまだ始まったばかりです。これからも勉強を重ね、無理なく一步一步進んでいきたいと考えております。



にぎわい広場で、幼稚園のお母さん達とバルーンプレゼントに挑戦！一番楽しんでいたのは私達だったりして！？

「仕事をしていた頃から技術ボランティアをやりたいと思っていました」とおっしゃるのは代表の安藤隆博さん。興味のあるものしか続かないと思い探していたところ、新聞で名古屋のおもちゃ病院の記事を見つけます。その後、偶然にも春日井の方から誘われ、記事にあった名古屋のおもちゃ病院へ通うことに。半年間ノウハウを学び、平成12年12月に念願かなって小牧で『小牧おもちゃ病院トイトイ』を発足されました。

今では女性2名を含む11名と会員数も増え、「産業フェスタ」や「生活展」、「児童館まつり」といったイベントに参加されるほか、小牧ふれあいセンターやエコハウスで定期的に開院されています。ただ、年間450件ほどある依頼に応えるためには、スタッフがまだまだ足りないとのこと。「興味のある方は一度のぞいてみてください」とメンバーを募っていらっしゃいます。

ちょうど取材に伺った時、修理されたおもちゃを受け取りに来たお子さんがいました。手渡されたおもちゃが直っていることを確かめると、パッと明るい笑顔に。その笑顔を見てお母さんもとても嬉しそうでした。

利用者はお子さんばかりではありません。電車の模型のレールを持参し診察を受けている大人の方もいらっしゃいました。最近ではHPなどで知った市外の方も訪れるそうです。

おもちゃの相談を受ける中で、子どもやその家族とのふれあいがあり、嬉しい笑顔に出会えることがやりがいにつながるとメンバーのみなさん。おもちゃを通して親子の絆が深まり、おもちゃを大切にすする心、科学する心が育まれ、また「ありがとう」「バイバイ」といった挨拶ができるといった教育の効果もあり「良いことだらけですよ!」と、ニッコリされるみなさんの笑顔がとても素敵でした。

(取材 平手)



ピンクのエプロンがユニホーム。只今、ボランティア大募集です! 興味のある方はふれあいセンター(0568-77-0123)までお尋ねください。

委員会からのお知らせ

- ◇ **交流委員会**
3月9日(日)子ども育成分野情報交流会を開催します。
- ◇ **団塊世代委員会**
「団塊世代とそれに続く世代のセカンドライフについての意識調査」(本誌98P/ダイジェスト版4P)が完成しました!
- ◇ **広報委員会**
3月15日発行予定の市民活動センターニュース13号の「市民活動の広場」への掲載記事を募集しています! イベント情報(3/20-6/15期間のもの)・ボランティア募集などありましたら、事務局までご連絡下さい。

事務局からのお知らせ

- ◇ 2月から事務局スタッフに野村明美さんと土谷美裕紀さんが加わりました。野村さんはバスケットが得意なスポーツウーマン、土谷さんは今年成人式を迎えたばかりの二十歳のお嬢さんです。どうぞよろしくお願いたします!

編集後記: 底冷えのする寒い毎日ですね。でも、各種セミナーや法人化記念事業などが目白押し。事務局もフレッシュな顔ぶれとなり熱気ムンムンです。汗をかきすぎて風邪を召されないように! (広報委員長 秦野利基)

ネットワークニュースレター第3号

◎ 発行・編集:特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日:2008年2月15日
〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階
TEL:(0568)74-4011 FAX:(0568)74-4070
e-mail: komaki.civic-net@me.ccnw.ne.jp HP:http://komakici.jp/